



新眉山クラブ
山下 博正
議員

▼教育行政について

Q 横浜市は児童の問題行動への対応に専従する児童支援専任教諭の配置を始めていますが、本市では考えられないのか。

A 本市には県教育委員会から児童・生徒支援加配や教育支援加配で、教員定数以上の配置があつている。また、本市独自の取り組みとして、特別支援教育支援員と小学校と中学校の数校に配置し、支援が必要な児童に個別に対応している。さらに、心の教室相談員を各中学校に配置し、いじめ、不登校等への対応をしている。このように、わずかな変化やサインを見逃さないように、日々の生徒指導の充実を図っている。

▼環境行政について

Q 市民生活環境を整備する最大のポイントは公共下水道の整備だと思つが、どのように考へているのか。

A 有明町との合併、人口減少、合併処理浄化槽の普及状況などを勘案しながら、下水道区域を約八百九十五ヘクタール、計画処理人口を二万三千五百四十三人と想定し

ており、概算事業費は約二百三十三億円とされている。この実施区域や時期及び期間は多額の事業費を要するので、市の財政計画を慎重に見据えた上で、議員や市民と相談しながら進めていきたい。

Q 将来的に水が枯渇する心配はないのか。また、ボーリングの規制等は考へていないのか。

A 平成十年四月に島原市地下水保全要綱を定め、新たにボーリングする場合の届け出や、流しつ放しの水は必要最低限の使用に努めていただくよう、排水量の調整などの協力をお願いしている。地下水保全条例や水遺産制度を設けている熊本市の状況を研修したところであり、今後、ボーリング規制等の可能性についても研究したい。

Q 新エネルギーの活用はどのようなことを研究しているのか。

A 二十二年度に島原市地域新エネルギービジョン策定等事業を実施し、新エネルギーの導入、普及のための基本方針、重点テーマ並びにその推進体制について検討を行った。今度は太陽光発電、バイオマス資源、地下水を活用した発電について研究したい。

【その他の質問項目】

- ◇観光行政について
- ◇道路行政について



真政の会
安藤 幽明
議員

▼公園の整備について

Q 霊丘公園は、二十六年の長崎国体に向け、弓道場、体育館の建てかえが進められているが、その規模と内容はどうなっているのか。また、体育施設ではない部分の整備はどう考へているのか。

A 現在の体育館に隣接する駐車場の場所に体育館と弓道場を併設した施設として建設する計画で、建物の規模は延べ床面積で約三千五百平方メートル、鉄筋コンクリート造で一部鉄骨造の二階建てを予定している。今回、建設する弓道場は近的用の施設で、現在の近的施設は取り壊し、跡地は駐車場を整備する計画である。体育施設でない部分の整備については、現在の散歩や休憩、遊戯の場としての利用状況を大切にしながら検討していきたい。

Q 総合運動公園内の道路は、朝夕は車の通行が非常に多く、中学生、高校生の通学路としても利用されている。車、自転車、歩行者にとって安全な方法はないのか。公園内の道路に工夫はできないのか。

A 公園内であることの注意を喚起するた

め、舗装の色を変えたり、「公園内徐行」の道路標示を行うなどの対策をとっている。さらなる交通規制を設けることについては、関係機関と協議し、検討する必要がある。

Q 中央公園の芝生広場の状態は、水はけが悪く、ぬかるみ状態であるが、今後どうするのか。

A 水はけの悪さの原因については、試験掘りなどを行い解明し、どのようにしたらいいか検討すべきだと思つている。近々に調査することにする。

▼低所得者対策について

Q ①本市における生活保護世帯の数、②生活保護世帯数のこの十年間の推移、③世帯主の年齢はどうなっているのか。

A ①二十三年一月現在で三百五十三世帯。②十三年三月では百六十一世帯、十八年三月で二百七十世帯、二十二年三月で三百三十八世帯であり増加傾向にある。③二十三年一月現在で、七十歳以上が百十七名、五十歳から六十九歳までが百八十五名、五十歳未満が五十一名。

【その他の質問項目】

- ◇市街地の町づくりについて
- ◇観光年賀絵はがきについて